

# 平成12年度 和歌山県文化賞

より もと かつ み  
寄 本 勝 美

住 所：東京都東村山市

出 身 地：和歌山県田辺市

生 年：昭和15年

## ◎業績及び経歴

昭和15年に田辺市に生まれた氏は、県立田辺高等学校卒業後、早稲田大学政治経済学部自治行政学科に入学し、ウイン国際奨学生としてアメリカ合衆国のブランダイス大学への留学も経験した。

昭和39年に早稲田大学卒業後、同大学院政治学研究科に進学、昭和42年より同大学政治経済学部助手を務め、専任講師、助教授を経て、昭和53年には教授に就任。平成6年から9年にかけて政治経済学部長の役職に就き、平成10年からは常任理事を務めている。

氏は、大学院在学中に、地方自治の現場にアプローチすることを計画し、川崎市清掃局でゴミ処理などの現場を体験した。この体験をもとに『ゴミ戦争－地方自治の苦悩と実験』（日経新書）を発表し、自治体のゴミ戦争に一石を投じ、昭和58年には『「現場の思想」と地方自治』（学陽書房）で日本都市学会奥井賞を受賞した。

また、昭和58年より1年半にわたってアメリカ合衆国のピッツバーグ大学で客員教授として同市の政治行政の総合研究に従事し、その後も二度にわたって渡米、同市のフォローアップ調査を続け、平成5年にその成果を『自治の形成と市民－ピッツバーグ市政研究』（東京大学出版会）にまとめた。それにより京都大学法学部から法学博士の学位を授与された。

さらに、まちづくりやゴミ・リサイクル関連の市民・消費者団体等のアドバイザーとして、あるいは自治体や国の委員として幅広く活躍しており、学会では廃棄物学会会長、日本地方自治学会理事

長を務めた。

氏は、政治の一つの潮流である地方分権の主要な研究者の一人として重要な立場を占める人物であり、本県の誇りとなる行政学者である。

## ■現在

早稲田大学政治経済学部教授

早稲田大学常任理事

中央環境審議会委員

産業構造審議会委員

厚生省容器包装リサイクルシステム検討会委員

## ■主な表彰歴等

昭和58年 日本都市学会奥井賞

平成2年 櫻田会奨励賞